

うらおそい歴史新聞



第50号

尚本家による清明祭

「浦添ようどれ」にて

去る4月6日（土）、那覇市の玉陵

（世界遺産・国宝）で第二尚氏王統の先祖供養である清明祭（シーミー）が尚本家により執り行われました。その後、「浦添ようどれ」と沖縄市の尚宣

威王陵でも行われました。尚本家による当地での清明祭は、昨年に引き続いての実施でした。

玉陵での祭式は、古文書に基づき墓前に豚の頭やアヒル、ニワトリ、餅やサトウキビ等が供えられ、当主の立拝に始まり、線香や酒をささげ、出席者全員で手を合わせて一礼し終了でした。

午後1時からの浦添ようどれ内の尚寧王陵での祭式では、墓前に重箱と果物、花束を供え、当主の立拝からはじまり、出席者全員で一礼し、玉陵と同じ流れで行われました。尚宣威王陵でも尚寧王陵と同じ祭式が行われたようです。

昨年との違いは、ようどれ一番庭の英租王陵の前でも拝礼があったことです。

折しも来年は、尚寧王没後四百年という年です。これからも、尚本家による清明祭は行われるようですが、私達浦添市民もこの機会に、ようどれに眠る王族の方々に敬意を表し、感謝を伝える何か「アクション」を起こしても良いのではないかと、という思いに至りました。皆さん、いかがでしょうか。

（玉那覇）



浦添ようどれ東室「尚寧王陵」前の様子

「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な

「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」

沖縄県・那覇市・浦添市

去る5月20日（月）、沖縄県と那覇市とで申請したストーリーが文化庁の「日本遺産」に認定されました。「日本遺産」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、2015年から始まりました。

「日本遺産」は、ストーリーを構成する有形・無形のさまざまな文化財を一体的に国内外へ発信し、地域の活性化や観光振興を図ることを目的としています。これまでの「文化財保護」をさらに「文化財活用」へと広げた制度です。現在、83件のストーリーがあり、2020年の東京オリンピック開催を機に100件程度の認定が見込まれています。今回、沖縄県内から初めての認定となりました。

ストーリーは、『琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」です。沖縄はかつて琉球王国と呼ばれ、独自の文化を形成してきました。琉球王国は「守礼の邦」「礼節を重んじる国」を掲げ、中国皇帝から派遣された冊封使節団など、訪れる外国の賓客をもてなすために礼遇を行いました。宴は国を挙げた重要な行事で、料理や芸能に力を注ぎました。そこで供された宮廷料理や御用酒泡盛、宴を盛り上げた芸能は、今も沖縄の誇りとして県民に親しまれています。琉球王国時代に育まれた食文化と芸能は、「世替わり」の歴史を映しながら、連綿と続く「守礼の心」で受け継がれています。

浦添市は首里以前の「中山」の王都といわれ、琉球王国の礎を築いたとされる歴史があります。また、浦添城跡、浦添ようどれ、伊祖城跡、組踊の創始者玉城朝薫の墓といった史跡をはじめ、浦添市美術館の琉球漆器コレクションなど多数の構成文化財があります。

課続きは裏面へ↓



日本遺産
JAPAN HERITAGE



浦添城跡

13世紀に築かれ、14世紀には高麗系瓦ぶきの正殿を中心に、石積み城壁で囲まれた大規模なグスク(城)。その周辺には寺院や集落があり、後の王都首里の原型がここでできあがっていました。

玉城朝薫の墓(邊土名家の墓)

冊封使歓待のための踊奉行に任じられた玉城朝薫の墓。玉城朝薫は音楽・舞踊・台詞を総合的に取り入れた組踊を創作しました。



日本遺産に関する詳しい情報は、文化庁HPや浦添市HP(トップ画面上)を検索してご利用ください。

■ 構成文化財一覧表 (浦添市単独…10件、那覇市単独…14件、那覇市共同…5件)

| 名称 | 所在地 | 名称 | 所在地 | 名称 | 所在地 |
|-------------------|-----|--------------|---------|-------------------------|-----|
| ① 伊祖城跡 | 浦添市 | ⑪ 清明祭 | 那覇市・浦添市 | ⑭ 玉城朝薫の墓(邊土名家の墓) | 浦添市 |
| ② 伊祖の高御墓 | 浦添市 | ⑫ ウサンミ(お供え物) | 那覇市・浦添市 | ⑮ 識名園 | 那覇市 |
| ③ 浦添城跡 | 浦添市 | ⑬ 那覇港周辺の旧跡 | 那覇市 | ⑯ 御茶屋殿跡 | 那覇市 |
| ④ 牧港テラブのガマ | 浦添市 | ⑭ 上天妃宮跡の石門 | 那覇市 | ⑰ 朱漆山水人物箔絵東道盆他43件(琉球漆器) | 浦添市 |
| ⑤ 浦添ようどれ | 浦添市 | ⑮ 久米村600年記念碑 | 那覇市 | ⑱ 琉球泡盛 | 那覇市 |
| ⑥ 浦添城の前の碑 | 浦添市 | ⑯ 首里城跡 | 那覇市 | ⑲ 首里城 銭蔵跡 | 那覇市 |
| ⑦ 中頭方西海道(尚寧王の道) | 浦添市 | ⑰ 天使館跡 | 那覇市・浦添市 | ⑳ 豆腐よう | 那覇市 |
| ⑧ 琉球交易港図屏風 | 浦添市 | ⑱ 御冠船料理 | 那覇市 | ㉑ 桔餅(ぎっばん) | 那覇市 |
| ⑨ 旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘) | 那覇市 | ㉒ 琉球舞踊 | 那覇市・浦添市 | ㉓ 首里城書院・鎖之間庭園 | 那覇市 |
| ⑩ 久米村周辺の史跡・旧跡 | 那覇市 | ㉔ 組踊 | 那覇市・浦添市 | | |

○ 浦添市歴史にふれる館(やかた)

【開館時間】 午前9時30分～午後5時

【入館料】 無料

【休館日】 土・日・祝祭日(慰霊の日)

12月28日～1月3日

【住所】 浦添市港川512の11

【電話】 098-876-1295

【アクセス】 琉球バス交通 20番系統 第一牧港バス停から徒歩15分 無料駐車場有り

※文化財の収蔵展示施設です。浦添西海岸道路北側から見える海岸沿いにあります。縄文時代から戦前まで、浦添の歴史と文化を紹介しています。

○ 浦添大公園南エントランス展示

【開館時間】 午前9時～午後5時

【入館料】 無料

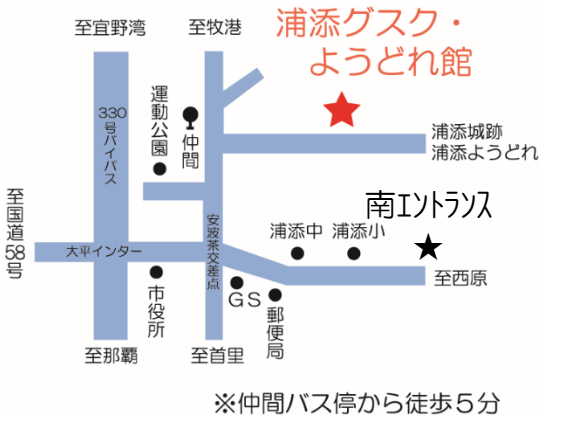
【休館日】 月曜日・12月28日～1月3日

【住所】 浦添市仲間2-53

【電話】 098-874-9345

【アクセス】 琉球バス交通 56番 浦添小学校前バス停から徒歩5分 無料駐車場有り

※浦添グスク南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスク地形模型のほか、グスクの紹介パネルや出土品のレプリカを展示しています。グスク散策事前学習に最適です！



○ 浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】 午前9時～午後5時

【入館料】 大人(高校生以上) 100円 小人(小中学生) 50円 ※市内小・中学生は無料

【休館日】 月曜日・12月28日～1月3日

【住所】 浦添市仲間2-53-1

【電話】 098-874-9345

【アクセス】 琉球バス交通 牧港線(55番) 仲間バス停から徒歩5分 無料駐車場有り

※浦添グスク・ようどれを中心に浦添の史跡・文化財の案内を致します(有料)。時間・コースも相談できます。お気軽にお問い合わせください。